



いよいよ本番!入試当日に向けて 2

いよいよ受験（受検）本番。公立高校推薦入試に続いて、私立一般入試日程の始まりです。A日程－B日程－公立一般入試へと続きます。そこで、受験（受検）前や当日に気をつけたいことを確認してみましょう。

受験前日の準備 … <下見>

私立校は、下見の有無やどこまで見る事が可能かなど、各学校の「募集要項」やHP等で知らされています。必ず確認しておきましょう。

公立校は、学校の敷地内には入れませんが、学校の所在地や学校までの交通経路や所要時間等を確認するために、学校前までの下見は許されています。過去数年間の先輩たちも、大部分の受検者が下見に出向きました。

★下見をするときの具体的なポイント

- ① 試験会場までの交通経路・交通手段（乗りもの）
…バスや地下鉄の時刻なども調べておく（乗り換え時間も考えて）
- ② 所要時間（徒歩の時間や待ち時間も含めて計算する）
…ラッシュ時の道路の混雑状況や、満員で乗れない場合は次の便に回される可能性があることなども考えて計画を立てる
- ③ 受験する教室（会場）はどこか
…どこの校舎の何階の何年何組か？階段はどこを使うのか？
何という施設（建物）の何階の会場か？
- ④ 座席はどこか。机の状態はどうか。試験会場内に時計はあるか
- ⑤ トイレはどこか。水飲み場はあるか。
- ⑥ 面接試験の会場とその控室はどこか。
- ⑦ 試験場（自席）の暖房状況はどうか（寒いだけでなく暑い場合もある）。
※受験者に対する掲示物があれば、必ずメモを取ってくる

★ 注意すべき事項

- ・下見の時間は指定されているので、募集要項などできちんと確認しておく。
- ・早すぎないこと。遅れないこと。
- ・下見の時から試験は始まっているという意識をもつ。
- ・試験時と同じきちんとした服装で行く。
- ・あいさつや言葉づかいにも、ふだんと同じように気を配る。
- ・仮に他校の生徒の中に「不適切な言動」をとる人や、「だらしない服装」の人がいたとしても、それで良いわけではないので一切気にしない。一切かかわらない。

＜携行品の準備＞

1. 受験票 ・私立A日程 番 ・私立B日程 番
 ・公立 番

※ 当日忘れた場合は、高等学校で必ず申し出ること。

2. 筆記用具等 ・鉛筆（使い慣れた硬さのものを5～6本）
 ・シャープペンシル（予備の芯も持参する 計算機能付きは不可）
 ↑↑↑高校によっては使えない学校もあるので事前に調べること。
 ・消しゴム（新しくやわらかいもの） ・鉛筆削り ・コンパス
 ・定規（分度器付きは不可）

（募集要項や受験票に「直定規」と明記されている私立校は、それを持っていく）

※ 受験票に持参品の一覧や持込み禁止品の一覧が書いてあるので、よく確認する。

【参考資料：公立入試での持込み禁止品一覧】

← 私立入試においても基本的に同じです

- ・ 計算機（時計型、ペンシル型を含む）
- ・ ×スマートフォン（※私立は試験会場では電源を切るという制限で持込可）
- ・ 辞書機能付時計、ウェアラブル端末（スマートウォッチを含む）等、学力検査の公正を損なうおそれのあるもの。

3. 生活用品等 ・上靴と靴袋（記名をして、ヒモなどもきちんとしておく）
 ・弁当と飲み物（水筒）
 ・腕時計（時計機能だけのもの 時刻は正確に合わせておく）
※ 計算機能付きや辞書機能付きは試験会場に持ち込めませんし、
目覚まし時計のようなものも、もちろん×です。
 ・お金（片道のタクシー代程度は準備しておく）
 （バスの運賃支払いや電話連絡用の小銭も用意しておく）
 ・交通系ICカード（サピカ等）…残金は事前に確認しておく
 ・勉強道具（教科書等、ふだんから使い慣れているものが良い）
 ・めがね（入学願書に貼った写真と同じものをかける）
 ・ハンカチ、ティッシュペーパー、マスク、予備のマスク 等
□ティッシュが必要な場合は、箱や袋から必要分を出し机上へ
□防寒用上着・ひざかけ（文字が入っていないもの限定）

4. 生徒手帳 ※身分証明として必要 ※以下のことを必ず記入しておくこと
 ① 受験（受検）校の住所と電話番号
 ② 受験（受検）番号
 ③ 保護者の緊急連絡先（携帯番号の他、勤務先の電話番号等も）
 ④ 石山中学校の電話番号（011-591-8853）

★ 服装も再度チェックしよう

- ・ ボタン・シャツ・ネクタイ・リボン等を再度確認する。
- ・ 不備なところがあれば、きちんと直しておきましょう。